

中谷防衛大臣視察(H27. 1. 19)

平成27年1月19日、防衛大臣(中谷 元)が南スーダン共和国ジュバ市のUNトンピン内にある日本隊宿営地を視察した。

19日午前ジュバ空港に到着、当初、ビルファム駐屯地を訪れ、南スーダンの国防大臣と会談、「これからの日本と南スーダンの両国関係の進展等」について話し合われた。

その後、日本隊宿営地に到着し、儀じょう隊長(富野 3佐)以下50名の儀じょうを受け、派遣隊員との記念撮影を行ない、西村隊長による状況報告を受けた後、派遣隊員との昼食会、続いて、宿営地内を視察した。UNMISS軍事部門司令官(ヨハネス・テスファマリウム中將)との懇談では、「これからの日本隊を含めたUNMISS活動」について意見交換を行った。派遣隊員に対する訓示においては、「遠く離れたアフリカの地において日の丸を背負って、国際平和協力に従事している精強な諸君の姿を目にし、大変心強く、頼もしいと感じる。どんな場面においても強い責任感と緊張感を持ち、これから高い結束力を発揮し常に健康や安全に気を配るなどの気持ちの余裕をもって任務に邁進し、素晴らしい活躍をしてくれることを期待する。」と述べた。また、UN施設外における施設活動現場(ハイガバット地区)を視察、酷暑の中において活動する隊員に対し、「厳しい環境の中大変だと思いますが、安全に気を付けて頑張ってください。」と激励した。その後、イギリス、ロンドンにて開催される2+2(外務・防衛大臣会談)に出席するため、南スーダンをあとにした。



日本隊宿営地を視察し儀仗を受ける中谷防衛大臣